



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

2019年(令和元年)7月度 理事会 議事録

【日時】 2019年7月13日(土) 9:30開始 - 12:00終了

【場所】 神田 Mixer および スカイプ

【出席者】 事務所6名 スカイプ4名 計10名

(理事) Mixer: 森山、稲葉、太田、奥野 スカイプ: 森口、小口、藤村、西久保

(監事) Mixer: 土屋、植村

【欠席者】 義本(会長委任)、川瀬(会長委任)

【審議開始準備】

- ・ 書記、議事確認者を議長(森山)より指名 書記: 太田、承認者: 森山、小口、奥野
- ・ 前回までの理事会からの宿題事項確認 … 各審議事項、報告事項の中で対応

【審議事項】

1. 会員数推移(会員:小口) … Shiryo S1

5月度理事会後 PE183名 PEN61名 FE69名 AF28名 ST10名 合計351名

7月度理事会後 PE181名 PEN63名 FE65名 AF29名 ST10名 合計348名

PE/FE試験合格・登録にともなう会員種別の変更がなされていない会員がいることについて会員部会から提議があり、意見交換をした。主な意見は以下の通り。

- ・ PEN会員からPE会員への種別変更は任意となっている。会員はホームページ上で自身の登録情報の変更申請はできる。(小口)
- ・ 自分はPEN会員からPE会員への変更方法がわからず、会費振込用紙が送られてきたときにJSPEに尋ねて変更した。(太田)
- ・ JSPE理事(会員部会)としては会員の試験合格・登録を知る術は無く、自己申告に頼らざるを得ない。PE登録が完了したらPE会員に変更できる(議決権を持てる)ことを周知する案内をウェブサイトなどで出すことが必要だと思う。(森山)
- ・ FE試験、PE試験合格後の種別変更についても同様であり、案内文を考える。(小口)

決議事項:

- ・ 会員部会で文案を考えてウェブサイトで会員に変更のお願い(義務ではない)を周知する。

また、会員区分の変更の議論に加えて、PE登録を済ませてすぐに退会する人をどのように引き止めるかについても議論した。主な意見は以下の通り。

- ・ 入会してから1,2年で退会する人の大半はシラバス英訳支援やPE登録が済んだ段階で辞めてしまう。(森口)
- ・ シラバス英訳支援のもともとの主旨はPE会員を増やすことだったので、JSPEに在会を継続していただく方策が必要。(奥野)
- ・ シラバス英訳支援を利用できる条件を、一定期間以上在籍した者に限るといった方法も考えられる。(森山)

本件は、継続議論とする。

2. 役員内の情報共有化(事務局:森山)

FTPの使い方、メールの送受信、ホームページへの投稿など情報共有が必要と考える。別途機会を設けて講習会を行いたい。何の情報共有が必要か、いつ実施するか以下の通り議論した。

- ・ 9月理事会の議事や資料の準備は新たに開設した役員向けの掲示板と従来どおりのメールの両方



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

を使って行うこととしたい。(森山)

- Survey Monkey は値上がりもあり、来年度の更新時(5月)に利用を停止する方向で考えている。(森山)
- Zoom は Skype に比べて使い勝手がよいと思う。月額 2000 円がネックではあるが、総会や JSPE Day でも使える。(森山)
- 鬼金セミナーも、PDU の供給はできないが、Zoom 受講者に CPD の供給はできる。(森口)
- 仕事以外の場面で Zoom を使っている人は多い。(土屋)
- 賛成意見が多いので Zoom を利用する方向で考えたい。ID が必要になるので教育部会と協議する。(森山)
- 部会名でのメール送信方法について特に知りたい。(藤村)
- FTP の使い方やメール送受信方法などについて主に新任役員を対象として講習会を行いたい。日程は別途メールで調整する。(森山)

3. “PE 永年会員”創設案について(会員) … Shiryo S3

5月の理事会で継続審議となった“シニア会員”について意見を踏まえ見直した。その内容について以下の通り議論した。

- 前回理事会で名誉会員の区分を設けることを目的とするのか、会費負担を減らすことを目的とするのか明確でないという指摘があったことを受け、会費負担の軽減を目的とした案を会員部会に作ってもらった。(森山)
- 会費負担軽減を主眼としたなら「趣旨」の文章はそのような内容にしたほうがよい。(土屋)→承知した。(森口)
- シニア会員という名称に反対があったとのことだが、シニアという言葉は決して悪い言葉ではないのでシニア会員でよいと思う。(植村)
- 条件等は会員部会に考えてもらった案を用い、名称をシニア会員としたい。(森山)
- 会員種別が増えると混乱するので会員番号は PE-9XXX とする案でよいか。(小口)→了承(一同)

決議事項:

- 趣旨の文章を会員部会発信、理事内メールで議論し、案内を作成する。

4. メール大喜利進捗と今後の方針(企画:森山) … Shiryo S4

総会で説明した会員交流ツールのメール大喜利を準備中である。メールリストの環境とホームページへのアップを途中まで行ったが、投稿ルール(NSPE の Open Forum 参考)の日本版作成とトピックリーダーをお願いしたい。その他、本取り組みを進める上での必要事項について以下の通り議論した。

- Engineering Ethics や最新技術と倫理といったトピックについての議論に使っていききたい。(森山)
- 最初にルールを示しておく必要があると思う。NSPE Open Forum の Code of Conduct を参考にしたい。ディスカッションが始まったらトピックリーダーに仕切ってもらいたい。(森山)
- トピックリーダーは会員全体を対象に公募するのがよいと思う。(植村)
- 議論するトピックと質問に回答すれば済むトピックとで扱いを分けるべきと思う。参加者に CPD を供給するなら、トピックが Engineering Service に関するものである必要があると思う。(奥野)
- 議論を深めるトピックが向いていると思う。(森口)
- 議論はするが、結論は決めつけないというスタイルがいいと思う。(植村)

決議事項:

- ファンリテーターを企画部会とする。開始にあたりトピックを提示する(ゼロベースで会員に公募しない)。企画の具体案を企画部会が作成し、今後メールで協議する。

【報告事項】(報告予定事項と提議者・部会名を記載のこと)

1. NSPE 総会出席予定について(森山、西久保) … Shiryo H1



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

7/17～20にカンザスシティで行われるNSPE総会について、プログラムを紹介。出席予定の森山、西久保の参加セッション案を紹介。House of Delegates (HoD)では森山が5分間スピーチを行う予定。

渉外部会から承認いただいたエイトキン会長と事務局のケリーさんへの手土産について報告。マティ―新会長にも手土産を渡す。

2. 事務局、東京都、ボランティア保険の届け出・申請状況(事務局:森山)

7/12(金)に川村前会長と森山で手続きを行った。状況を報告。

- ・ 事務局への提出に備え、会長候補を選任した理事会と総会の議事録は押印した原本を準備しておいたほうがよいと思う。(土屋)
- ・ 交通費と切手代は各自まとめておいてもらい、3ヶ月に一度、ボランティア時間の集計とともに会計部に提出することとしたい。(森山)

3. JSPE 事務所の移転について(事務局:森山)

昨年度から神田に移転したJSPEの事務所であるが、ビルの老朽化に伴い、神田Mixerが今秋に移転を計画している。定款に変更が無いように、同じ中央区、予算に影響がないように同一価格で計画されているが、今後移転に伴って、名刺やホームページの住所変更、会員への周知が必要となる。

- ・ 中央区内での移転なので定款に変更はないが登記は変更する必要がある。(森山)

4. 総会承認 2019 年度予算と各部会の活動予算について(事務局:森山)・・・Shiryō H4

6月総会で承認された予算について、以前いただいた各部会の予算案をもとに部会に割り振りを行った。今後の活動の目安、および予実確認に利用いただきたい。(ファイルを共有する)

- ・ 各部会長はファイルを見てどのような活動ができるか次回理事会までに考え、その案を会計部にレビューしてもらうということを11月ごろまでに実施したほうがよい。来年度の予算を組む際に役立つと思う。(土屋)
- ・ 割り振った予算をオーバーしてはならないということではない。(森山)

5. 関東イベント実施報告(計画)・・・Shiryō H5

6/26(水)に神田Mixerにて植村監事を講師に迎え「大規模プロジェクトにおけるリスクマネジメント～リスクはとにかく早くつぶせ!～」をテーマとしてご講義いただいた。講師、スタッフを除いた出席者は10名と盛況であった。

8/28(水)2019年度第2回エンジニアズサロンを開催予定。テーマ、講師未定のため、お申し出やご推薦を受け付けたい。

- ・ 第2回ESの講師を務めたい。(稲葉)→了承(一同)

9/28(土)JSPE Day開催予定。テーマ、講師未定。このJSPE Dayかそれ以降の技術セミナーの講師候補として東北工業大学の泊准教授を推薦する。(Shiryō H5)

- ・ リサイクルや気候変動といった昨年度のアンケートにあった希望テーマからJSPE Dayのテーマを選定したい。泊准教授には秋以降の技術セミナーでの講演をお願いしようと思う。(太田)
- ・ テーマを決めたら今月中を目途に会員講師を募集したほうがよい。(森山)

6. PE登録助言活動(会員:小口)

PE登録助言活動をウェブサイトに掲載し、活動を始めている。現在3名の方が申し込まれ、メンターの方が決まり、適宜対応をいただいている。

7. 事業報告書の郵送完了(企画・広報部会:西久保)

冊子、電子版の送付が完了。費用は製本約32万円、郵送約4万円の計36万円。今年度は電子版希望者が7→45名と増加しており、次年度の冊子の数は450→350～400と減少するのが妥当と考える。



8. 広報部会の業務引継ぎ状況と10月号マガジンへの協力依頼(広報部会:西久保)

理事の負荷分散を目的に JSPE マガジンの編集役割を以下のように分担し、引継ぎを行った。

・西久保:特集、全体編集、web サイト更新

(夏休みに更新の仕方を伝達し、全員が対応できるようにする予定)

・川瀬:PE/FE 試験体験記、新入会員紹介、CPD 発行

・藤村:PE 登録体験記、いこいの広場、CPD 発行

・全員:その他記事の依頼・収集

10月号マガジンの準備として、「新役員としての抱負」の題目で寄稿をお願いしており、協力をお願いしたい。

9. 会員登録情報への年会費納入状況の表示(会計/会員 小口)・・・Shiryō H9

ウェブサイトの会員登録情報に管理者(=担当理事)による連絡欄を新設し、そこに年会費の納入を記載する。これにより会員は、自分の年会費の納入状況が確認できることになる。年会費以外にも管理者からお知らせしたい情報を記載するにも活用できる。会員登録情報の画面の改修が必要であるが、これは対応可能である。この案について異論はないが、年会費の年度別ステータスと表示、その他の連絡欄の表示をどのようにするかにするか、サイト改修する場合の難易度も含めて検討することとした。

10. 日本機械学会ワークショップ(渉外: 義本)・・・Shiryō H10

9月9日機械学会秋田大学シンポジウムの計画状況を報告。対応者は川村前会長。6月27日に同学会事務局より正式な登壇依頼があり、テーマが「プロとしての技術者(の紹介)」および「技術者の地位向上について」。さらに、このワークショップを発展させて、学会誌2020年1月号では、「プロフェッショナルとしての技術者」と題する特集を組に2ページの原稿執筆依頼がきている。

11. 鬼金セミナー日程変更(教育の協力: 森山)・・・Shiryō H11




REPの監査が終了し、今年度鬼金セミナーを開始する。8月開始予定であったが、9月開始とする。スケジュールは別添のとおり

12. 三重大学で配布したフライヤー

・フライヤーを100枚発注し三重大学で60枚配布したので40枚余っている。別の機会に使ってほしい。(土屋)→森山が保管

【次回理事会予定】 9月21日(土) 9:30~@神田 Mixer

【議事承認印】

承認	森山 亮	
承認	小口 力	
承認	奥野 隆一	
書記	太田 量介	